

企業見学講座@A社

会社を学校と捉え、社員が業務のなかで特性に気づき、スキルを養い、将来的に社内外でステップアップする。衛生用品メーカーの特例子会社は、障害を理由に昇進昇給に天井を見ない、特例子会社と障害社員の未来を描いていました。

社員の方々は、得意な業務（情報処理・軽作業etc.）を各々担当しつつ、アットホームな雰囲気でも連携されていました。隣接のレストランは健康的。選考は自己理解で勝負。志望先のひとつになりそうです！

利用者A

企業見学講座@B社

私が見学に行ったB社（特例子会社）で、まず驚いたのは、本社は基本的に工場のため敷地がとても広いことです。見学中は屋外を通る機会も多くありましたが、道幅が広く、車両が常に行きかかっていました。実際、部署によっては移動に自動車や自転車を使うそうです（例：社員の作業服などを洗う「クリーニングチーム」が洗濯後の作業服を各部署に返却する際など）。一口に特例子会社といっても多種多様な企業があることを改めて実感しました。

利用者B

企業見学講座@C社

C社へ企業見学に行ってきました。大きなビルの中に会議室や食堂があり、いかにもオフィスという雰囲気の職場でした。作業する部屋には手順書やホワイトボードがあって、視覚的な分かりやすさを大切にしている事が分かりました。私は整理整頓が苦手なのですが、C社では決まった場所に物が置かれていて全体的に片付いていたのが印象的でした。

利用者C

避難訓練

先日、エンカレッジで災害を想定した避難訓練がありました。私は集団行動が苦手ですが、エンカレッジでの避難訓練の参加は2度目で、前回よりは緊張や不安が少なく最後まで避難訓練を想定通りに行動することができたと思います。今回の避難訓練で行った集団行動の経験を活かし、集団行動に対する苦手意識を少なくしていこうと思いました。

利用者D

ソーシャルクラブ@京セラ美術館

私たちは、京都市京セラ美術館で開催された、ルーヴル美術館展を見学しました。

名画73点というボリュームに加え、テーマとなった神話などの解説もあり、非常に見応えがありました。また、西洋絵画に特徴的なシンボル（リンゴ…原罪の象徴、など）について事前にメンバーと学んでいたことで、複数の視点をもって鑑賞することができ、絵画鑑賞の経験がほとんどない私ですが、集中し過ぎて疲労困憊になるほど熱中して鑑賞できました。

利用者E

スタッフコメント

観光客で賑わう三条周辺。先日修学旅行生が、鴨川沿いにある某珈琲チェーン店のメニュー表を見て、何を注文するか迷われていました。おそらく初めてそのお店に入ったのですが、不慣れながらも注文しようとする姿が、とても微笑ましく映りました。

知らないお店に入る時は、不安もありますが、面白いエピソードが生まれることもあります。馴染みの店もいいですが、たまには違う店に行ってみるのもいいかもしれませんね。

スタッフ 江籠

編集後記

“11月らしさとは”、結局答えが出なかったため、「自分が最もデザインしやすいモチーフ」で作った結果、良くも悪くもエンカレ通信とは思えないデザインが誕生しました。

方々から「好き放題過ぎ」と叱られそうですが私は満足しています。利用者F

11月の予定

3日(金) 祝日の為休み
17日(金) ソーシャルクラブ
23日(木) 祝日の為休み
30日(木) 月末最終日のため
AMのみ

利用状況

18名 (10/27現在)